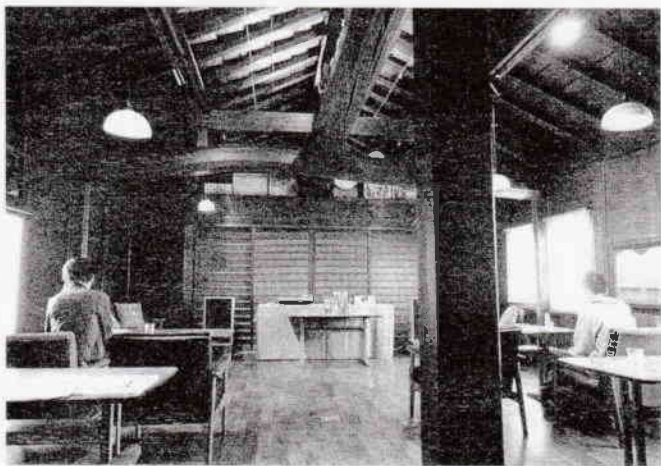


江戸時代の蔵にイタリア音楽

真空管アンプでレコード楽しむ

上田の石森良三商店で日伊協会



イタリア音楽を聴く参加者

LPレコードで聴く会が開かれた。日伊協会会長野（渡辺千洋会長）の主催。同商店は蔵づくりの建物で、県内作家などが制作した品を展示販売している。所有者の石森社長によると、この蔵は約170年余前の江戸時代

後期に旅籠として建築され、その後倉庫として使われたもの。3年前にリノベーションし、1階には店舗のほか中庭のテラス席があり、2階は多目的スペースとなっている。レコードは、海野町のジュエリーサロンヤジマ社長の矢島万記子さんが提供したもので、カンツォーネ（イタリアポピュラーソング）やアリア（オペラ独唱曲）など。真空管アンプは、同市常入の城下工業株式会社（城下徹代表取締役）が企画製造販売しているもの。

を使った特製エクレーアを食べながら心ゆくまでイタリア音楽を楽しんだ。

上田市中心3の石森良三商店（石森義久代

表取締役社長）でこのほど、イタリア音楽を

築かれ、その後倉庫と

ある漆喰の土蔵で、イタリア産子ヨコレート